

令和元年度 MOA学園（羽島中学校区）連絡協議会 議事録

開催日時 令和元年10月17日（木）15：00～16：30

開催場所 羽島市立羽島中学校 図書室

出席者

自治会代表	足近コミセン館長 武山 和明	小熊コミセン協議会長 大橋 利正	正木町自治委員会会長 味岡 巖
青少年育成 推進委員代表	足近地区青少年育成推進会長 名和 泰典	小熊地区青少年育成推進委員代表 水野 治郎	正木地区青少年育成推進部会長 安井 宏典
主任児童委員 代表	足近地区 長島 秀賢	小熊地区 大橋 達也	正木地区 不破 祥公
地域コーディネーター	足近地区 田中彰俊	小熊地区 柳川 禎章	
PTA 代表	小熊小学校 高橋 昭文		
学校代表	足近小学校長 阿部 達也	正木小学校 教頭 日置 和宏	羽島中学校長 森山 健
羽島市 教育委員会	地域コーディネーター 浅野喜代子		
事務局	小熊小学校 教頭 花村 伸二	羽島中学校 主幹教諭 今井田 桂太	

18名出席／23名中

1 開会のあいさつ（羽島中学校森山校長）

- ・今年度は、体育祭を二日間に分けて開催。
- ・小中学校と地域が一体となり、子供たちの健全育成につなげたい。
- ・校区で共通の目標をもって取り組み、特に、防災に視点を置き、各学校の情報交流を通じて、これからの活動のヒントにしていきたい。
- ・羽島中学校区の子供たちをみんなで育てたい。

2 連絡協議会委員の紹介

出席した委員が、自己紹介。

3 連絡協議会会則について

事務局より、資料をもとに会則を説明。会則を承認。

4 会長・副会長の選出

事務局から、会則に基づき提案。会長、副会長を承認。

5 活動報告

（1）各学校の運営協議会の活動報告

各学校で作成されたコミュニティ・スクールだよりをもとに、活動報告。

(2) 防災について

事務局が作成した防災についての資料をもとに説明。

(3) 各団体の活動報告

① 各自治会

・正木地区

- ・12地区、安否確認の訓練を考えている。
- ・各区の単位で安否確認訓練か、防災訓練を考えている。
- ・小中学生が少しでも参加していただければありがたい。

・足近地区

- ・防災コーディネーターを中心に、防災研究会を立ち上げ。
- ・コミセンが地域と学校のつながりの中心。
- ・足近地区は、地域行事が盛んなので、人と人のつながりを重視。

・小熊地区

- ・防災訓練を9月1日に実施。
- ・煙のトンネルをくぐり。水中歩行訓練。
- ・小熊の消防団が、消防操法大会で良い成績を残した。
- ・町民運動会を10月20日に開催。消火器の取り扱いにかかわる種目。

② 各青少年育成推進委員

・正木地区

- ・小5から中3の児童生徒を対象に、青少年隊を結成。
- ・海上自衛隊舞鶴の社会見学を8月22日に、セントレアの社会見学を10月11日に行い、士気を高揚。

・足近地区

- ・夏祭り、町民運動会、文化祭の三大行事への参加、協力。
- ・町民運動会は50周年。青少年の力が必要。
- ・小学校6年生では、防災教育を実施。

・小熊地区

- ・町行事支援を中心に活動。
- ・花のプランターの植え替えなど、中学生を中心として活動。

③ 各主任児童委員

・正木地区…個々の児童生徒の交流が中心。学校の要請に基づいて活動。

・足近地区…心配な子を中心に、家庭を中心につなぎ作り。

・小熊地区…特に、組織的な具体的な活動は行っていないが、各行事の支援を実施。

④ 各PTA

・正木地区

- ・運動会のテントの片づけ、親子合同奉仕作業、愛校作業（落ち葉掃除）、ベルマーク収集、白衣・三角巾の修繕、広報誌作成。

・足近地区

- ・資源回収、夏休みの環境整備作業、除草、剪定、足近文化祭、広報誌年3回発行

・小熊地区

- ・リサイクル活動2回終了、地域行事に毎年協力、親子清掃は11月に予定。

・羽島中学校

- ・高校見学バス2台で、3校ずつ見学。8月の奉仕作業実施。

(4) 羽島中学校区の名称について

MOA学園（モアがくえん）という名称についての提案を承認。

6 意見交流

- 児童生徒と地域の人との交わりを大切にしてほしい。一緒に何かできることを考えてほしい。
正木小学校では、子供たちと老人クラブ員と一緒に合唱に取り組んでいる。
- 地域性を重視しつつ、その地域のオリジナルな活動は大切にしていく。情報交換だけの会ではなく、具体的に何を運営していくのかをはっきりしたらどうか。
- 交流はよいが、防災に絞ったらどうか。共通のテーマが「防災」となったので、この一点についていろいろと考えていったらどうか。
- 羽島中学校区は、防災に取り組む。目標をもって継続して取り組んでいく。
- 災害発生時に地域に残るのは中学生である。訓練では、教員の指示が課題となった。大川小学校の件も同様である。羽島中学校では救助袋を実際に使ってみたら、時間がずいぶんかかった。本当に災害が発生したときに、どうしたらよいか。子供たちをどのように保護者に引き渡すか、考えなければならない。

7 羽島市教育委員会（市地域コーディネーター浅野様）

- ・日頃から、子供たちを温かく見守ってくださり、感謝。
- ・防災をテーマに取り組むこと、MOA学園構想など先進的な取り組み。
- ・教育委員会規則の改正につなげたい。
- ・私たちは自然災害を目の前にして、「～するとよい。」という画一的な指導では間に合わない。いかに考えて判断して行動できる力をつけていくかが大切。

8 閉会のあいさつ（会長 田中様）

- ・学校が休みの土曜日、台風19号の様子をテレビで見ながら、あの状況でどうしたらよいか、考えた。
- ・今日の会議で、防災について考えていくことははっきりとした。
- ・2月の第2回の会議で、どんな意見を持ち寄って話し合うのか、はっきりとしないといけない。

9 決定事項

- ・会長 地域コーディネーター田中彰俊様 / 副会長 羽島中学校 森山健校長
- ・連絡協議会のテーマは、防災。
- ・次回開催は、令和2年2月。内容は、防災についての交流。